

中学生の部 入賞

「最悪だ。」

ぼくは、六年生のときに左ひざにけをした。その日の朝は、歩けないほど足が痛くて病院に行つた。バスケの試合で良くない転び方をしたことが原因で半月板の損傷だつた。その日から、松葉杖での生活になつて、大好きなバスケが出来なくなつた。六年生の一月だったから卒業まで試合に出られないと思つて最悪だつた。

そんな時に、リハビリの先生に出会つた。先生は、優しくて、教えるのが上手で、ぼくの話をたくさん聞いてくれる先生だつた。ぼくは、リハビリを続けていくうちに、先生に会うのが楽しみになつて、リハビリを頑張ろうと思えるようになつて、出来ることが増えていった。最終的には、歩けるようになつて、走れるようにもなつて、六年生の最後の試合にも出ることが出来た。ぼくは、とても嬉しかつた。ここまでこれたのは、先生のお陰だ。先生には、感謝しかない。先生、ありがとう。

愛知県江南市中学一年生
稲垣 繼介さん